

■■■■の薪ストーブから出る煙と臭気、ススによる被害の排除に関する陳情

■■■■（以前■■■■があった土地）を「■■■■」という不動産会社が■■■■で購入し、同地に自社の社屋を建て、2022年10月に入居して来ました。

同社屋には薪ストーブと煙突が設置されており、入居後から我が家はこの薪ストーブから出る煙と臭気、ススの被害を受けるようになりました。

このことについて改善をして頂きたく、数回同社に出向き、苦情を申し入れましたが、「当社は何も悪いことはしていない。文句を言うな。苦情があるなら法廷で争う。」との返答で、苦情を言った相手（私）に対して恐喝するような言動でした。

更に、同社屋の庭では、今まで2回、土曜日午後から日曜日午前中まで丸一昼夜、従業員や顧客を招いてテントを張りキャンプをしており、この間（丸一昼夜）キャンプファイヤーを焚きっぱなしで、この時は、煙害、臭気、ススが特にひどく、家の中でも強く臭いを感じる状況で、また、火の粉による火災も心配でした。

この環境悪化を何とか改善して頂くことができないかと、市役所、交番にも相談に行きましたが、市役所ではいろいろな部署をたらい回しにされたあげく、市役所、交番両者とも「法規には触れていない」とのことで、記録はして頂いたようですが、期待した対応は何もして頂けませんでした。ただ、この相談時に「町内会に相談してみてもは」とのアドバイスを頂きましたので、■■■■町会に相談し、その結果、町内会の被害があるかも知れないお宅へアンケートをして頂くことになりました。添付しました2点の文書が、アンケートに対する私の回答と、併せて町内会に提出しようとしている一連の被害の記録です。この記録をお読み頂けましたら今までの一連の経過と大変困っている状況がお分かり頂けることと思います

何よりも、この結果、洗濯をする、洗濯物を干す、布団を干すという日常の家事をする時は、常にススや臭いだけでなく■■■■の煙突の状況を見ざるを得ないことになり、従来の生活並びに良好だった■■■■での生活環境が一変してしまい。妻はノイローゼ気味になってしまい、眠れないばかりか言動も少しおかしくなってきました。

現在、このような切迫した状況になっており、早急に改善しないと、このままでは妻のノイローゼが昂じ、とんでもないことになると思い、本陳情を差し上げる次第です。

何卒、従来の生活環境に戻れるよう、対応措置を講じて頂き、「住んでよかった」「住み続けたい」まちに復帰させて頂きたく、伏してお願い申し上げます。